

# ケロちゃん通信

2019年 2月 第44号



☆ 本格的な冬シーズンですが、今のところ除雪に苦労するような大雪にはなっておらず、何よりです。例年1月上旬は、少し患者さんが減るのですが、今年もその傾向がみられました。年末年始のお休みで、保育園、幼稚園、小学校などでの集団生活をしなくなるからではないかと推察しています。

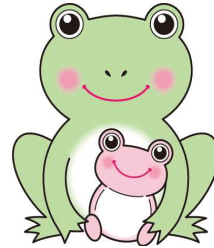
☆ 1月中旬よりインフルエンザの患者さんも増え、流行期に入っています。今シーズンは、新たに発売されたゾフルーザという薬が使えます。1回1錠内服するだけのお薬です。タミフルも今まで10歳台には使えませんでした、使えるようになりました。

☆ あと1カ月のりこえれば、春の息吹も感じられるようになると思います。それにともない、そろそろスギ花粉症に対する準備も必要な季節になってきました。毎年症状が出る人は建国記念日(2月11日)くらいから準備したほうがよいと言われています。心配な方はご相談ください。

☆ 2月よりHP、掲示の診療時間の表示が少し変わります。今まで朝8時30分に受付を開始し、順番に診療を開始していましたが、診療時間の表示は9:00~となっていました。より実態に合わせた表示にするために表示を8:45~に変更します。とは言っても診療自体は今までと何も変わりありません。受付も8時30分からです、よろしくお祈りします。

## 2月の診療予定

本間医師 (1日午前・午後 15日午前)



## ながおか医療生協 あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1

電話番号 0258-36-5810

<http://www.nagaoka-iryousaikyou.jp/>

## 診療案内

一般診療の受付開始は午前8時30分、午後15時30分からです。

### ☆一般診療

直接来院の場合は、診療時間内に受診してください。  
予約希望の場合は、前日0:00からスマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください。  
付き添いのお母さん等が体調不良の時も、お気軽にご相談ください。  
緊急の場合や、特別な相談がある場合には、まずお電話ください。

☆**予防接種、乳児健診**：スマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください(2ヶ月後の予約までできます)。今まで通り、窓口または電話でご予約もできます。

### ☆専門外来

①**発達外来(第2・4火 13:30~15:30、予約制)** 小児神経専門医による診療を行っています。言葉が遅い、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい等の発達障害をご心配されている方、ひきつけ、チック、夜尿症などの発達や神経に関する心配がある方は、お気軽にご相談ください。

②**アレルギー外来(第1・3金 9:00~12:00 予約可)**

アレルギー専門医による診療を行っています。食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎、花粉症等で心配がある方は、ご相談ください。

☆発達外来、アレルギー外来受診希望の場合には、電話で予約をお願いいたします。(Web予約はできません)

☆生協こどもクリニックとも協力して診察を行っています。病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

## りんご病（伝染性紅斑）

☆**りんご病**はヒトパルボウイルスB19の感染により発症します。飛沫感染または接触感染で感染します。

☆**ほっぺ**がりんごのように赤くなるので、りんご病とよばれています。感染から1-2週間が感染時期になります。この期間に微熱やかぜ症状がでることもあります。感染から2-3週間で、ほほの発疹、太ももや腕には赤い斑点や網目状、レース状とよばれる発疹が出現します。年長児や大人がかかると微熱、頭痛、感冒様症状、関節痛を訴えることもあります。紅斑が出現せずに関節痛のみのこともあるので注意が必要です。紅斑は抗体上昇後に出現する二次的な要因によるもので、ほっぺが赤くなる時期には感染性はほとんどありません。伝染性紅斑は一度かかると終生免疫がえられ、健常者は再感染しないといわれています。自然になおりますが、かゆみが強いつきにはかゆみ止めなどを処方します。

☆**診断**：典型的な発疹、流行状況で容易に診断できますが、血液検査でB19IgM抗体、B19ウイルスDNAのPCR法で検出法もあります。

☆**登園、登校禁止期間**：ほほが赤くなったときは、すでにうつる時期を過ぎているので、元気であれば登園・登校してもかまいません。登園・登校許可書が必要な場合は、受診ください。

☆**食事**：いつもとおりでかまいません。

☆**入浴**：いつもとおりでかまいません。ただし熱い風呂に長く入ると赤みが強くなって長引くことがあるので、短時間で切り上げましょう。

☆**運動**：運動で体が熱くなったり日光に長くあたると、長湯と同じように赤みが長引きます。

☆**予防**：ワクチンはありません。

B19未感染の妊婦さん、各種血液疾患児は、患者さんとの接触をなるべくさけてください。

しかし、発疹の前の無症状の時期に感染源になるので、現実的な予防は難しいと思われます。

### ☆伝染性紅斑以外のパルボB19感染症

- 慢性溶血性貧血患者の無形性発作
- 関節症状：小児ではあまりみられません。思春期、成人では80%近くに認められます。
- 子宮内感染：妊婦さんが妊娠中、特に妊娠初期に感染すると胎児水腫の原因になることがあります。
- 稀に心筋炎、骨髄不全の報告もあります。

